

彈発指 (Spring Finger)
=ばね指の治療

『漢方の臨床』63巻2号(2016)別刷

吉 本 悟

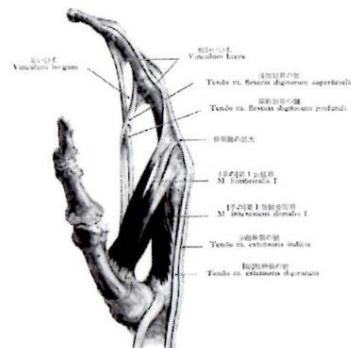
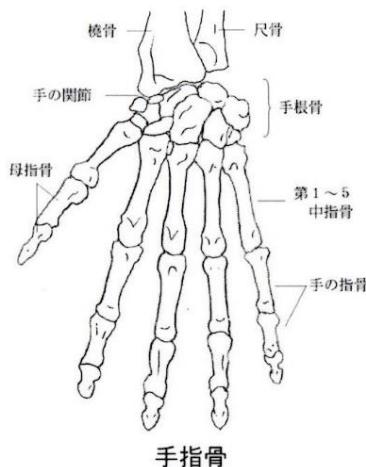
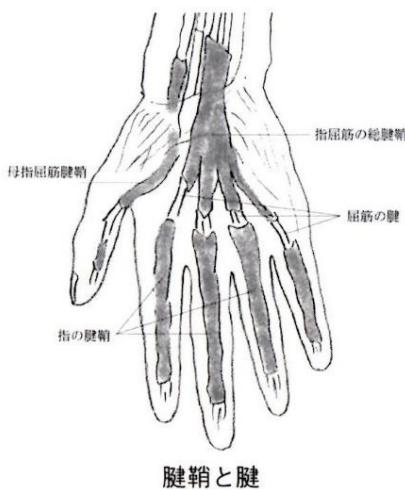


図 387. 示指につく腱 Tendons attached to the Index Finger
腱鞘と腱
(日本人体解剖図〔南山堂〕より引用)



一般社団法人・日本漢方交流会学術誌33号に掲載した論文ですが臨床に携わる方々の役に立つのではないかと思ひ、加筆して本誌に投稿します。治療面で好成績を得ておりますが灸など施術にスキルを必要とする場面があり十分

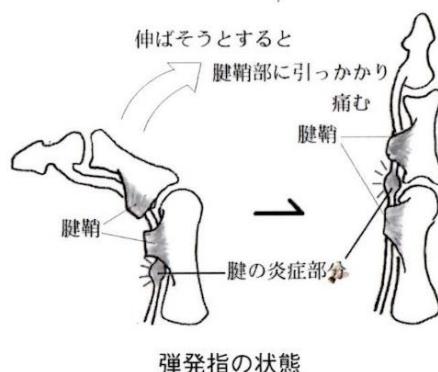
に説明できない箇所があります。漢方薬は立場上、薬局製剤とOTC医薬品を使用しています。

指の構造と弾発指との関連

日本漢方交流会理事長・広島漢方研究会副会長
薬王堂漢方薬局及び鍼灸院院長

吉 本 悟

弾発指 (Spring Finger) ～ばね指の治療



弾発指の状態

弾発指の一般的治療法

①テープニングによる固定で動かさない。②安定剤の服用。③ステロイドを患部に注入。④レーザーマイクロウエーブ療法。⑤手術。

漢方薬治療

越婢加朮湯、疎經活血湯、防己黃耆湯、當帰芍藥散、當帰四逆湯、当帰建中湯、桂枝加苓朮附湯、六味丸、八味丸など

その他

グルコサミン、コンドロイチン、カルシウム、コラーゲン、ビタミン剤、栄養食品、など

症例

以下、写真撮影の許可を得た有効症例を10例ほど紹介してみます。

[症例1] 52歳、女。数週間前より指が痛み、朝方は曲がり伸ばそ娘れ合うことで炎症を起こした状態！

- ・狭窄性腱鞘炎＝弾発指＝ばね指
- ・腱鞘というトンネルで腱という紐が通りにくくなつた状態。

[原因] ①使い過ぎ、②慢性関節リウマチ、③糖尿病

[症状] ①指の付け根に痛み、②指全体が腫れる、③弾かれるような感覺

[症例1] 68歳、男。左手拇指根と人差し指根の痛み

[症例2] 53歳、女。左拇指根の痛みと薬指根の痛みと脹れ、屈曲が困難。

[症例3] 68歳、男。左手拇指根と人差し指根の痛み

[症例4] 75歳、女。両拇指根のばね指

[症例5] 68歳、女。ばね指と両膝関節炎、半年前に登山してから

[症例6] 70歳、男。両手のばね指、左手

[症例 3]



[症例 2]



[症例 1]



(上から)

- X年6月3日、初回
- 8月3日
- 8月25日、治療終了

(上から)

- X年6月30日、初回。
芍薬甘草湯エキス+当帰
芍薬散エキス
- 7月3日
- 7月8日
- 9月11日、治療終了療
終了

(上から)

- X年2月7日、初回
- 2月7日、点灸
- 2月14日、当帰建中湯
エキス投薬
- 3月15日、痛みもなく
完治。治療終了

〔症例6〕



〔症例5〕



〔症例4〕



(上から)

- ・8月21日、左手、初回
- ・10月1日、左手。9月3日よりグルコサミンを服用、2週間おきに灸をしてかなり回復

(上から)

- ・X年3月29日、初回。桂枝加苓朮附湯、薏苡仁煎服
- ・5月初旬(1月後)、両膝内側靭帯の痛みは軽減。やや浮腫がある



以下は1～2カ月の治療でほぼ完治した例を載せます。

漢方薬を併用した場合もあります。

〔症例7〕

65歳、女。左中指のばね指、肩関節周囲炎(五十肩)併病

〔症例8〕

63歳、男。右母指のばね指

〔症例9〕

53歳、女。右手中指、ばね指

〔症例10〕

45歳、女。左手母指・人差し指

施灸方法 約2週間後



(上から)

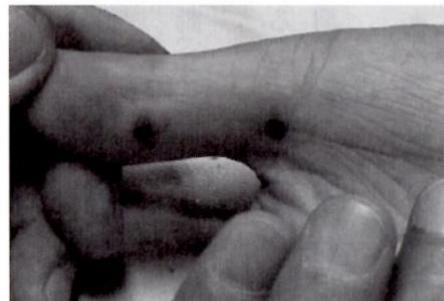
- ・X年4月20日、初回。左手
- ・4月20日、初回。右手
- ・5月24日、左手。ほぼ完治
- ・5月24日、右手。ほぼ完治



[症例 9]



[症例 7]



[症例 8]



[症例 10]



[症例 10] 施灸方法、約2週間後

灸治療における留意点

- ・艾は品質の良いもの（軽く燃焼時間が短いもの）を使用します。
- ・線香は太く折れにくいもので香料が入っていないものを使用します。
- ・施灸に際し施術者の手で患者の指を軽く固定します。
- ・最初の艾は皮膚上に接着しにくいのでマジックペンで圧痛点に印をつけて接着させます。
- ・艾は軽く揉み圧痛点に正確にのせます。

- ・線香の灰がそのままですと艾に火が移りませんので必ず落として施灸します。
- ・艾の大きさは米粒大よりやや小さめとし、壮数は1カ所に7壮くらいします。
- ・圧痛点は関節部から少し離れた腱鞘部上に集中します。
- ・屈曲する横紋上は少ないようです。
- ・指紋のある皮膚面は水膨れが起きにくい場所ですが過剰な施灸は避けましょう。
- ・1週間に1度の間隔で来院していただき治療します。家庭では施灸させません。概略、4～5回の治療で快方に向かう方が多いようです。

結語

- ・弾発指は老化現象の現れで小関節の腱及び腱鞘に炎症が起きた状態
- 全体の関節を動かす運動、体操、ランニング、水泳など
- ・日頃から腱や筋に栄養を与えるよう食事に気をつける
 - 豚足、豚耳、鶏皮や手羽、小魚、小動物のエキスなどを摂取
- ・一時的に炎症をとる治療は後々に良くない場合がある
 - ステロイド剤の注入、消炎剤の長期使用、痛み止

ご投稿、お待ちします！

漢方医学は症例報告が貴重な財産になります。それを活用することによって、会員同士が研鑽を積み重ね、治療成績向上につながります。

本誌は学術誌でありながら、格式ばらない編集方針を取っています。症例報告のみならず、論説、古典研究、鍼灸、薬学、医史学、隨想、トピックスなどを寄せ下さい。学会、研究会などで口演したままになつていてる原稿もペーパーとして残すことをお奨めします。会員誌の特質を生かしましょう。

- ・漢方薬は症状と体质により使い分ける。継続的な予防服用も必要
- 六味丸、八味丸、桂枝加朮附湯、芍藥甘草湯、当帰芍藥散など
- ・灸治療が有効。
 - 昔から行われてきた方法がよい、圧痛点を目標とし施灸場所を確実に取る
- ・めの連用など

〒735-0029 広島県安芸郡府中町茂陰1-3-12